

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

第12回埼玉フェスタ開催

テーマは「新たなチャレンジ」

「音楽の祭典」など新企画が続々

第12回埼玉フェスタが9月15日（土）と16日（日）の両日に開催された。今年の埼玉フェスタは「新たなチャレンジ」というテーマを掲げて内容が一新され、沢山の学生達や同窓生達が新たな交流を求めて埼玉学習センターに集い、センターは例年になく賑わった。

15日（土）



未来の会会員の指導で絵手紙に挑戦

初日は「音楽の祭典 in 大宮」と題して、8階講堂は終日音楽ホールと化した。プログラムは第一部の個人演技「日本部門」から「オペラ部門」「ポピュラー部門」などで、腕自慢、のど自慢の参加者が日頃の練習の成果を披露した。また第二部の「アンサンブルと合唱」では、「ウイーンペーターズ教会」での演奏会のために結成された合唱団の事前演奏を茂木一衛先生の指揮で披露した。続いて「歌声広場」が催され、全員で懐かしい歌を歌った。

第12回埼玉フェスタご協力のお礼

埼玉CSC交流会 代表 嶋崎洋明

「第12回埼玉フェスタ」は新体制による新たな役割の積極的な事業展開により、「新たなチャレンジ」のテーマを掲げて開催されました。「音楽の祭典 in 大宮」では、学生の個人演奏や歌声広場の歌指導に声楽家の福井克明先生がお越し下さいました。同窓会鈴木会長のご尽力により「ジャズライブ」を継続し、「秩父と陸前高田」の物産販売を実施致しました。「むぎの会」代表福盛田さんの力添えを頂

て楽しんだ。最後の第三部は、毎年好評のジャズライブが開催された。懐かしいジャズのナンバーが次々と演奏され、ダンスのステップ指導の後、多数の参加者がダンスを楽しんでいた。

講堂以外では、第1講義室で熟年会の公開勉強会「地方紙を読む」があり、続いて埼玉英語倶楽部による「日本文化を英語で表現しよう」の特別授業が行われた。また、実験室では、永澤先生の「おもしろ実験」という特別講義も行われた。



お茶席で優雅にお茶を楽しむ

第4、第5講義室には個人作品の展示が行われ、午後には、研究論文の発表会や小澤先生による絵画の講評なども行われた。

2日目は朗読の会「こころ」の朗読劇「愛の手紙」と「八十八歳の私より」で開幕し、満員の客

センターの渋谷所長はじめ、事務所の皆様、同窓会の皆様、各サークルの皆様、フェスタ実行委員の皆様、ボランティアの皆様のご協力によるものであり、皆様と喜びを分かちあうと共に、ご協力を頂いた皆様に心から感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。

さて、10月7日には、2学期の入学式が挙行されました。新たに放送大の学生となった皆さま、おめでとうございます。大勢の仲間と交流を深め、共に生きがいのある楽しいキャンパスライフを享受されるよう祈念しております。

初秋の箱根で童話の世界と芸術に触れて

篠崎佐枝子



「星の王子さまミュージアム」に行くということで、サン＝テグジュペリの生涯と童話を読み、予習をして当日を楽しみに迎えました。このミュージアムは、サン＝テグジュペリ生誕100年を祝した、世界的記念事業の一環として、世界で初めて1999年6月29日の彼の誕生日にオープンしたのだそうです。エントランスを抜けると四季折々の花が楽しめる庭が広がっていました。ミュージアム内は外から見ると違い、予想外に広く、最初ゆっくり見ていた私は、最後が駆け足になってしまいました。幼少期に母方の親族の持つ城館で過ごし、広い庭園を駆け回って冒険ごっこをして遊んでいたこと。彼が生まれた時代は飛行機が誕生した時代でもあり、幼い頃から魅せられ、26歳で念願の飛行士に。数年間、郵便飛行士としてフランスから北アフリカへ命がけの飛行に従事。不時着の経験もあったそうです。こうした経験が、『星の王子さま』誕生に繋がったのだと思います。私は、王子さまは幼少期の本人で、飛行士は大人になった本人を描いているように思います。

王子さまが旅に出て、7番目に着いたのが地球。キツネの言葉が心に響いています。「ぼくの秘密を言うよ。すごく簡単なことだ。心で見なければ、よく見えないってこと。大切なことって目には見えない。」「君がバラの為に使った時間が、君のバラをみんなにも大切なものにするんだよ。」「人間達はこの真実を忘れてしまった。でも君は忘れてはいけないよ。君はなつかせた相手には、ずっと責任があるんだ。」ポーラ美術館も初めてでしたが、驚きの出会いが3つありました。第1は、ルドンという画家を初めて知りましたが、その一角に北斎漫画も展示されていて、北斎がモネやゴッホだけでなくルドンにも影響を与えていたことに驚きました。正に「北斎とジャポニスム」でした。第2は7月のサントリー美術館で「ガレも愛した清朝皇帝のガラス」を観ていたもので、再びガレの作品に出会えたことにびっくりしました。第3は何と、レオナルド・フジタ氏の作品があったことです。8月に都美術館で「藤田嗣治展」を観ていた私は、彼がフランス国籍を取得してからの作品群だと気づきました。君代夫人の寄贈だと言うことで、フランスに永住を決めてからの奥様が日本人で本当に良かったと思いました。そうでなければ、ここに作品は存在しなかったでしょう。

発見のある魅力的な研修旅行を企画していただき、ありがとうございました。お陰様で有意義な研修旅行で楽しい一日を過ごすことができました。皆様は大感謝です。お世話になりました。



（左）行田を巡る旅・さいたま歴史探訪

「熱中症」 笹原誠二 今年の夏は7月中旬から全国的に34度以上の真夏日と熱帯夜が続いた。毎日のように、熱中症の疑いで病院に運ばれる人が多く、特に家の草取り中の老人や、体育館での特別授業中の子供たちが、突然意識を失って救急車で運ばれる例が多かった。

熱中症対策として、できるだけ不要な外出を避けたり、体を冷やすだけでなく、水分を十分に取り、さらに睡眠不足に気を付けて、常にクーラーや扇風機で部屋の温度や体温の上昇を避けるように気をつけねばならないと毎日報道されていた。私も極力日中の外出を避け、やむを得ず出かける場合は、十分な飲み物を持参して水分を補給したりしていたが、それでも駅の階段の上り下りの際、めまいで突然目の前が真っ暗となり、動悸と息切れでしばらくくしゃがみ込んでしまい、近くの人に「大丈夫ですか、エスカレーターを利用されたほうがいいですよ」と声掛けされることがあった。

めまいや吐き気だけでなく、動悸や息切れが重なる、単なる熱中症でなく、夏血圧や狭心症を心配したが、私の場合、幸いなことに水分補給をして、安静にしていると5分以内で元に戻ったので、熱中症の初期段階だろうと判断した。ただ、熱中症も熱射病の段階になると、自分一人では対応できないうので、十分気を付けねばならない。今年のように異常気温や高湿度の毎日が続く、自分自身で体調管理に気を付けて行動する必要があるのではないだろうか。

第12回埼玉フェスタ俳句・川柳大会
*俳句入選句
九月祭独語で唄う秋（シュール）ベルト 三国哲朗
夕風や無花果色の火星観る 笹原誠二
新学印刷教材折り目なし 橋本安義
*川柳入選句
落ちたのは体力 気力 我慢力 橋本安義
時代だねついに男子も日傘さす 坂本賢一
譲られた席に我が身の老いも知り 南袈裟雄

事務室からのお知らせ
卒業証書・学位記授与式
平成30年9月22日（土）午前11時から、埼玉学習センター講堂にて、平成30年度1学期の卒業証書・学位記授与式（卒業90名）が行われ、生涯学習奨励賞の授与もなされました。

入学者の集い
平成30年度第2学期の入学者の集いが10月7日（日）鈴木埼玉同窓会長、嶋崎CSC交流会代表が出席して開催されました。学部91名、大学院4名の出席者がありました。

面接授業追加登録期間
面接授業の追加登録期間は、10月24日（水）から科目ごとに定められた追加受付期限（通常は開講日初日の1週間前）までとなります。

通信指導の提出期限
通信指導の提出期限は、11月30日（金）です。郵送の場合は大学本部必着Webの場合には17時まで

交流会 埼玉学習センター 帰着後1時間程度の茶話会を実施
対象 40歳以下の在学

ご縁と出会い・軒下からの旅立ち e-グル代表 浅子英子

2006年、「パソコンを通して楽しめたいよね」という思いから数名が集まりました。でも会を結成するには不安だらけ。そこでコンパスの会員だった私は、代表の福島さんに「金曜日コースで加えていただけませんか」とダメもとで打診してみましたところ、「かまわないよ」と即答。その懐の深さと想定の外の展開の速さでした。喜びと感謝の気持ちを抱き、コンパスと言う母船のお蔭で小船は船出することができました。



やがてメンバーの紹介、素晴らしい羅針盤となる講師の先生を迎えることができた、今でもe-

グルを熱心にご指導いただいております。会にはパソコンを習得するだけでなく、パソコン以外の活動や学びを取り入れて親睦を深めてゆく中しばらくすると、コンパスの福島さんより、「そろそろ独立してもいいのでは」との申し出がありました。長い間、コンパスの軒下を厚意で借りていただきました。いよいよ単立の 때가 きました。今までの会の舵とりをしなくてはならない代表のTさんが、都合で下船することになりました。舵とりを失い、どう進むべきか途方にくれ、港で思いあぐねて

いると、メンバーの一人が数人の仲間を誘って乗船したいとのこと。港に佇んでいる場合ではない不安の中、みんなで協力して再び船出することにしたのです。そして2009年、船に掲げた旗に、いいグループでありたい、そして大空を羽ばたく驚愕のように夢の翼を広げてゆけたらという思いから、e-グルと改名しました。寄港地では乗船する人、下船する人、個性や価値観が異なるメンバーが共に航海をします。お互い理解することは難しくても、何より大切なことは、尊重して認め合うことだと思います。今年度は学習センターのご依頼で、パソコン初心者の方々を対象にした講座開設をお手伝いさせて頂きました。もちろん、初めての経験でしたが、戸惑い、悪戦苦闘しながらも、メンバー全員で協力し、無事に務めることができました。また、メンバー自身もそれぞれがこの講座を通して学ぶことができ、全員が成

長できたと考えるています。講座の参加者からは、その後もパソコンに関する取り組みを、折に触れて聴かせてもらっています。また、参加者のうちの何人かは、新たに、e-グルへの入会を希望してきました。多少なりと、皆さんのお役に立つことができたいのだと、感じています。パソコンは、いつも同じ繰り返し返しの日常の中に、役に立つとか覚えても忘れてしまおうとかではなく、知らないことに触れること。それは旅先で文化に触れる興味のあるものを土産にして、自分の生活の中を持ち帰ってくるようなものだと思います。筋トレするように、記憶の衰えてゆく世代の脳トレとなるのではないのでしょうか。e-グルはパソコンを通して仲間が集い、脳の翼を羽ばたかせる居場所なのです。e-グルはいろんな方々とのご縁、支えで歩んでこられました。これから先も、どんなご縁と出会いの旅になるか、航海を楽しみにしてゆきたいと思えます。

優雅に踊り、体と脳の健康維持 コミュニケーションを楽しむ ソシアルダンスクラブ 会長・尾山光良

当クラブは23年の歴史がある長年人気のあるサークルで、20歳代から80歳代まで幅広い年齢層の方が楽しんでます。ダンスを楽しみたいひとから健康維持、サークル仲間とのコミュニケーションを楽しみに参加しているなど様々です。

社交ダンスは敷居が高くて、興味があっても中々始める勇気が出ない方も大勢いらっしゃるかと思いますが。ダンスを習う人は最初から踊れるひとはいません。基本的なステップを少しずつ覚え、段々と踊れるようになります。色々な曲に合せ踊れる楽しさと、1曲踊り終えた感動は格別なものになります。素敵な楽曲に乗って優雅に踊る自分の姿を想像してみてください。積み重ねの努力は報われ、いつかは素敵に踊れるときが来ます。

さて、ダンスについてですが、日本では社交ダンスと呼ばれていますが、英語では「Ballroom Dance」と呼ばれています。ダンスのフィガー(1つのステップのこと)は世界共通です。もし貴方が海外に行った時ちょっとしたパーティーで踊れたら、素敵な思い出になると思いませんか?秋の夜長ダンスの歴史を調べながら華麗に踊る姿に思いを寄せるのも良いのでは?

現在、当クラブで行っているダンスの種類は、ルンバ、ワルツ、タンゴです。今後取り



組んで行く種目は、チャチャチャ、サンバ、スロー・フォックス・トロット・クイックス・ステップ等予定しております。

《サークルでのダンスの効果として》

- 1) 趣味として生き甲斐を見つける
ダンスは足腰に支障がなければ80歳を超えても踊れます。同じ目的を持った仲間と一緒に踊れる楽しみ、踊れた喜び、新しい種目への挑戦など、生き甲斐のひとつとして継続できます。
- 2) サークルを通じた新たな交友関係
放送大学は学生間の繋がりが薄いところがあります。サークルでは色々なコースを学ぶ学生や社会で様々な経験を積んだ学生が参加しています。ダンスを共通の趣味としてコミュニケーションも弾み、新たな交友関係も出来ると思います。
- 3) 健康的な効果
普段使用しない筋肉を使用したり、ダンスのフィガーを憶える為に脳内神経の活性化が図れ、認知症予防効果が有ることが研究者により実証されています。

日本でも医療的に取り組んでいる大学、自治体が多くあります。興味を持たれた方は遠慮なく見学、体験にお越しください。

練習日程・場所: 毎週土曜日午前中に練習
講師: 平林恵子先生(元JCF・ボールルーム、ラテン部門A級。日本舞踏教師協会・教師)
連絡先: ソシアルダンスクラブ・会長 尾山光良
TEL: 090-3042-9558
mail: oyama9558@docomo.ne.jp



★11月11日(日)
講師 茂木一衛 (横浜国立大学 名誉教授)
演題 「マツハとシニョーマンの音楽世界 ―象徴と感情―」

★12月16日(日)
講師 吉川好昭 (放送大学埼玉学習センター 客員教授)
演題 「心理テストの限界と奥深さ―ソニディ博士に魅せられて―」

★11月17日(土)
講師 難波明美 (放送大学非常勤講師)
演題 「生涯健康体操 ―いくつになっても元気で自活できる身体づくり―」

★11月27日(火)
場所 第1講義室
15時~17時
講演会「オペラ彩 和田タカ子氏 茂木先生指導」

★12月15日(土)
14時~16時
「クリスマス・パーティー」

クリスマス・パーティーのご案内

★日時: 12月22日(土) 13時~16時
★場所: 放送大学埼玉学習センター 講堂
★参加資格: 学生、同窓会員、OB、学生の家族、知人
★参加費: 学生、同窓会員、OB: 1000円
その他= 15歳未満: 無料
15歳~20歳未満: 500円
20歳以上: 1500円
歌もダンスもビンゴもお楽しみイベント沢山
申込・問合せ: 久保(080-1124-7678)

俳句(つみ草)

兼題 「種瓢」(たねふくべ)

うす墨の小さき貼紙秋の虹
剥きたての柿の重さを吊るしけり
石文を指になぞれる獺祭忌
幕下りて女帝の夢や月の道
つゆ草の貝よりいでし海の色
ひたひたと星の殖ゆく種瓢
味噌団子赤つややかに秋夕焼
秋澄むや楽聖シューベルトの墓
陣営の父の水筒種瓢
矢絣の端切れ広げて秋日和

八重子 安代 功江 光娥 十詩 明美 由美 順子 厚子

《見学歓迎第2木曜日午後1時より》

★11月8日(木)
14時半~17時半
「ティータイム 科学座談会」
講師 永澤明 (埼玉学習センター 客員教授)
場所 第6講義室
★11月11日(日)
13時~15時
「絵画サロンこざわ」
講師 小澤基弘

★11月22日(土)
13時~16時・8F講堂
「クリスマス・パーティー」
埼玉同窓会主催・CSC交流会協賛

★11月24日(土)
春日部・放水路地下宮殿見学
野田清水公園でバーベキュー

★12月22日(土)
10月27日(土)
11月4日(日)
(放送大学9F)
11月24日(土)
(シーノ大宮7F)
12月15日(土) (同右)
(シーノ大宮7F)

★活動日(全て土曜日)
10月20日 大学講堂
10月27日 大学講堂
11月3日 与野本町 コミセン
11月10日 大学講堂
11月17日 大学講堂
11月24日 下落合

★活動日(基本的に)
第1、第3金曜日
11月2日 第3講義室 9時半~17時
11月16日 第1講義室 9時半~15時
12月7日、21日 場所未定

★活動日(基本的に)
第1、第3金曜日
11月2日 第3講義室 9時半~17時
11月16日 第1講義室 9時半~15時
12月7日、21日 場所未定

★11月24日(土)
春日部・放水路地下宮殿見学
野田清水公園でバーベキュー

★11月27日(火)
場所 第1講義室
15時~17時
講演会「オペラ彩 和田タカ子氏 茂木先生指導」

★12月15日(土)
14時~16時
「クリスマス・パーティー」

★活動日(全て土曜日)
10月20日 大学講堂
10月27日 大学講堂
11月3日 与野本町 コミセン
11月10日 大学講堂
11月17日 大学講堂
11月24日 下落合

★活動日(基本的に)
第1、第3金曜日
11月2日 第3講義室 9時半~17時
11月16日 第1講義室 9時半~15時
12月7日、21日 場所未定

★活動日(基本的に)
第1、第3金曜日
11月2日 第3講義室 9時半~17時
11月16日 第1講義室 9時半~15時
12月7日、21日 場所未定